



令和7年度 外野小学校グランドデザイン

本県教育の目標

ひとりひとりの能力を開発し
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う
郷土を愛し 協力しあう心を育てる

〈学校教育目標〉

豊かな心で 自ら学び、
たくましく生きる児童の育成

「市立学校運営方針2025」

自ら考え行動しより良い社会の創造に
貢献できる市民の育成
～こどもを主語とした
自由で楽しい学び場づくり～

目指す学校像

- 人を大切にする温かい学校
- 笑顔と感動がある楽しい学校
- 一人一人がよさを発揮し、主体的に活動する学校

目指す児童像

- 進んで学ぶ子(自ら考え行動)
- 思いやりのある子(人を大切にする)
- 元気な子(たくましく健やか)

目指す教師像

- 児童に寄り添い、一人一人を大切に
する教師
- 人間性豊かで、常に学び続ける教師
- 明るく活力に満ち、他者と協働できる教師

学校スローガン

笑顔あふれる、児童が主役の魅力ある学校づくり

児童の目線に立った教育活動の実施・評価・検証・改善「PDCAサイクルの確立」

組織目標

- ◇ 他者対話・協働しながら、児童が自ら考え、自己決定できる場を多くする
- ◇ 児童の自己効力感・自己有用感を高める

【学びプロジェクト】

自ら考える力を育む、協働的な学びへの授業づくり

- 1 問いの発見と解決に重点を置く探究的な学びの充実
 - ・他者対話、協働しながら学ぶ場の設定
 - ・多様な考え方に触れ、納得解を見いだす
- 2 何を学ぶのか、何を学んだのかが分かる授業づくり(まとめと振り返りの重視)
- 3 基礎・基本の確実な定着
- 4 ICTの効果的な活用

<目標値>

- ◇授業に主体的に取り組んでいる 80 %
- ◇授業がよくわかる 80 %
- ◇ICTを活用することで自分の考えを表現することができる児童 80 %
- ◇月例テストの8割合格 80 %

【心はぐくみプロジェクト】

他者とながら、自己を高める集団づくり

- 1 互いのよさを認め合い、自分のよさを発揮できる学級づくり
 - 「寄り添い・励まし・共に伸びていく」
- 2 児童主体の特別活動の充実
 - ・自発的、自治的な学級活動・児童会活動
 - ・全員で協働して取り組む学級活動
- 3 道徳実践力を培う体験活動の充実
- 4 全教育活動を通して人権意識の高揚
 - 「人を大切にする」

<目標値>

- ◇みんなで何かをするのは楽しい 80 %
- ◇自分のよいところ分かっている 80 %
- ◇言葉遣いをよくしようと意識している 80 %
- ◇集団の中での自分の役割を果たすことができる 80 %

【体すこやかプロジェクト】

年間を通した体力の向上・生活習慣の改善・食育を推進する健康・安全な学校づくり

- 1 体力の向上を目指した教育活動の充実
 - ・運動量の確保と多様な運動経験
- 2 健康教育の充実と自己管理能力の育成
 - ・「早寝早起朝ごはん」の推進
- 3 発達段階に応じた安全教育の実施
 - ・危機への予測と回避能力の向上
 - ・「自分の命は自分で守る」意識の徹底
- 4 食に関する指導の充実

<目標値>

- ◇進んで運動をしている 80 %
- ◇体力テスト A+B 50 %
- ◇虫歯のない・治療済みの児童 90 %
- ◇朝食の摂取率 90 %

<地域とともにある学校づくり>

- 地域の教育力を生かした体験活動の充実
- 保幼小中連携・接続の推進
- 教育活動の情報収集・発信(学校だより・学校HP)
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的推進

<豊かな人間性と指導力のある教職員の育成>

- 教員評価・研修履歴を活用した資質・能力の向上
- 教職員の同僚性を生かした学校運営への参画意識の高揚
- 服務規律の徹底 「不祥事“0”の達成」
- 働き方改革の推進 ワークライフバランスの重視

<安心・安全な教育環境づくり>

- 多様性を尊重した学級経営の推進
- いじめ・体罰防止の徹底
- 「居場所づくり」と「絆づくり」
- 特別支援教育の充実 ～ユニバーサルデザイン
の視点による授業・環境づくり～
- 教育相談の充実と児童理解の深化